

12/14 早来アクティブバレーボール少年団 全道大会へ切符



安平町をホームとする男女混合チーム《早来アクティブ》バレーボール少年団が市を訪問しました。同少年団には、安平町や厚真町在住の選手のほか、市内からは千歳小と祝梅小の6人の選手が在籍。エースの齋藤 涼哉さん(祝梅小5年)らを中心に、昨年11月に八雲町で開催された第43回道新カップ北海道小学生バレーボール道南ブロック大会で見事に優勝を飾りました。1月には江別市で行われる本戦に出場予定で、チーム一丸となり、大会での躍進をめざします。

12/19 ファイターズジュニアチーム 太田 花凜さんが合格

千歳ブラックバード野球少年団に所属する太田 花凜さん(日の出小6年)が、北海道日本ハムファイターズジュニアチームのセレクションに合格し、報告のため市長室を訪れました。セレクションには全道各地から約350名の選手が参加。昨年10月につどむ(札幌市)で行われた最終選考に合格した16人(うち女子2人)がメンバー登録されます。太田さんは100kmを超える球速が持ち味のピッチャーで、セレクションでも「いいピッチングができた」と手応えを実感。「年末にNPB12球団ジュニアトーナメントがあるので、速い球を投げてたくさん三振を奪い、チーム全員で力を合わせて優勝したい」と、さらなる活躍を誓いました。



11/28 日本航空高校北海道 女子バスケ部が市長表敬 ウィンターカップで飛躍をめざす

高校バスケ日本一を決める大会《ウィンターカップ2023》の北海道予選会が小樽市で開催され、決勝リーグで2位に入った日本航空高校北海道が全国への切符を手に入れました。報告のため市役所を訪れた主力選手5人は、それぞれ全国大会へ向けた抱負を披露。キャプテンの西川 葵さんは「自分たちのブロックには、京都精華高校をはじめ強豪校がそろっている。今年のインターハイ優勝校などを相手に、どこまでやれるか楽しみ」と話し、ベスト16入りしたインターハイ以来の飛躍に自信をのぞかせました。(※12月23日、日本航空高校北海道はウィンターカップ1回戦で県立下妻第一高校(茨城県)と対戦し、69-73で惜しくも敗れました)



12/9 アリーナに響く「オムニキン」 千歳キンボール交流大会



ユーススポーツ《キンボール》の交流大会がダイナックスアリーナで開催され、フレンドリー(高校生以上)の部とジュニア(小中学生)の部あわせて11チーム45人が参加しました。キンボールは4人のチーム3組が同時に対戦する形式で、「オムニキン」とコールしてから直径122cmのボールをヒット&レシーブし、レシーブをミスするとミスしたチーム以外の2チームに得点が入ります。ジュニアの部に出場したチーム《レタチャー》の川崎 日桜莉さん(富丘中3年)は、「最初は焦りからルールに反して失点することがあったので、もう少し落ち着きがあればよかった。相手が小学生でもだんだんと汗をかいて、いつの間にか本気でやっていました」と振り返りました。

12/9 新千歳空港ビジネスジェット専用ターミナルがオープン 海外VIPの取り込み強化へ

新千歳空港に、ビジネスジェット専用ターミナルがオープンしました。Hokkaido Business Aviation Center(HBAC)と名付けられたこの専用ターミナルは、アフターコロナの航空需要回復を見据え、企業や富裕層などプライベートジェットを利用する海外VIPの取り込み強化を狙っています。これまで、新千歳空港に到着したプライベートジェットの利用者は、一般旅客と同じ動線で出入国審査や保安検査を受ける必要がありましたが、専用ターミナルの開業により待ち時間のストレスなくスムーズな出入国が可能になります。ターミナル内のラウンジでは、道産のアルコールやお菓子が振る舞われ、道内で製造された家具が高級感を演出しています。



12/10 千歳国際・友好都市交流協会 国際交流クリスマスパーティー

千歳国際・友好都市交流協会とANA新千歳空港(株)がタッグを組み、「空のまちの国際交流クリスマス with ANA」と題するパーティーを北ガス文化ホールで開催しました。パーティーには外国籍の市民12人を含む115人が参加し、フラフープリレー、ANA考案のO×ゲーム、紙飛行機大会、ビンゴゲームなどで交流を深めました。



ANA新千歳空港(株)のみなさん

同じグループの方と、出身国は?何か国語話せるの?日本と外国の違いは?などの話ができました
高橋 美帆さん(恵庭北高校2年)

ANAの制服を着ることができてうれしかったです
ペロニエ 梨桜ちゃん(3歳)

1.1 現在の人口
《総人口》
97,962人(+2)
男性 49,777人(-1)
女性 48,185人(+3)
《世帯》52,218世帯(+11)
()内は、前月との比較です。

Vol.09 1番機 北海第1号
Chitose Airport 100th anniversary
航空路の開設をもくろみ、ともに2機ずつ払い下げ機を調達しました。
小樽新聞機は「北海」、北海タイムス機は「北斗」とそれぞれ命名され、任務にあたりました。
北海第1号は、白銀色の機体に、上翼上面、下翼下面および機体側面に印字された「J-TAWA」の標識が特徴的です。操縦席の両脇には「北海」の二文字、さらに小樽新聞社の社章である鳳凰がデザインされています。
酒井憲次郎とともに千歳村に最初に着陸した飛行機、北海第1号は、海軍が採用していた「海軍一〇式艦上偵察機」をベースとしています。海軍一〇式艦上偵察機は、イギリス人技師ハーバート・スミスが海軍から注文を受け設計した複葉機で、のちに多くが民間に払い下げられました。大正期、北海道で販売部数を競っていた小樽新聞社と北海タイムスは、それぞれ定期
手づくりの着陸場から新千歳空港へ開港100年の歴史を振り返る
ちとせ空港 百年物語

広報ちとせからのお知らせ
広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会には加入しているしていないを問いません。
広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851